

## 令和元年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

愛知県

行事名称	犬山城防災訓練（文化財防火デー）
実施期間・日時	令和2年1月24日（金）10:00～11:30
実施場所	犬山城天守ほか（愛知県犬山市大字犬山字北古券65番地2）
主催者	犬山市教育委員会、犬山市消防本部

## ■実施内容

## 訓練の想定

令和2年1月25日（土）午後1時00分頃、犬山城天守2階から出火。初期消火を実施するも消火できず。火勢の拡大と山林に延焼の恐れあり。なお、避難途中に階段で転倒した観光客が、犬山城1階と2階に取り残されているもの。出火原因は放火とし、自動火災報知設備の鳴動により覚知するものとする。

## 訓練の内容

犬山城職員による火災発見、通報、初期消火（消火器、屋内消火栓、放水銃）、情報収集、負傷者搬送、避難誘導及び消火器、消火栓、AEDの取扱い訓練。消防署による負傷者救出及び放水訓練を実施。

## 参加者及び役割分担

犬山城管理事務所職員（5名）：通報、場内放送、情報収集、避難誘導、各隊への指示

警備員（9人）：火災確認、初期消火、負傷者搬送、避難誘導

券売職員（7人）：券売所前での来場者への状況説明、負傷者有無や避難誘導

夜間警備員（4人）：火災確認、初期消火

消防署（18人）：負傷者救出、放水、AED取扱訓練指導 予防課（4人）：消火器、消火栓取扱訓練指導、講評  
教育委員会歴史まちづくり課（4人）：訓練状況確認

## 特に工夫した点

例年と出火点を変更し、屋内消火栓を複数基使用できる状況の設定及び情報収集訓練の実施。

また、今年度は夜間警備員の参加に加え、例年一般入場者の訓練参加がほとんどないため、訓練開始前に場内放送で訓練参加への呼びかけ及びボランティアガイドも参加を促しての訓練を実施した。

## 問題点・課題

犬山城は急勾配の階段が1階段のみであり、消防署が到着するまでの間、犬山城職員のみで初期消火や多くの登閣者の避難誘導を同時進行で行う必要がある。通常の勤務体制は本訓練参加の半分以下の職員となり、一人一人のさらなるスキルアップが必要となる。

## その他

毎年文化財防火デーにあわせて消防訓練を行うことで、入城者（文化財防火デー訓練に伴う無料開放）や犬山城職員一人一人が文化財を守っていくとの意識付けを高めることにつながっている。

## 訓練風景

